

第28回 日本サイコオンコロジー学会総会

会長講演 《9月18日（金）13:50～14:20》 第1会場（2F／大ホール）

座長：山下 英尚（広島大学病院 精神科）

〔ヒロシマとゆかりのある医師として〕

演者：小早川 誠（広島大学 精神神経医科学・緩和ケア部門）

特別講演 《9月18日（金）14:30～15:30》 第1会場（2F／大ホール）

座長：小早川 誠（広島大学 精神神経医科学・緩和ケア部門）

〔記憶の継承一次世代に引き継ぐ資料館を目指して―〕

演者：志賀 賢治（広島平和記念資料館 館長）

教育講演1 《9月18日（金）9:00～10:00》 第1会場（2F／大ホール）

座長：明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

〔日常生活というブラックボックスをいかに明らかにするか？ ～EMAによるアプローチの紹介～〕

演者：吉内 一浩（東京大学 大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学）

教育講演2 《9月18日（金）9:00～10:00》 第2会場（2F／中ホール）

座長：所 昭宏（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科）

二宮ひとみ（獨協医科大学 麻酔科学講座）

〔困っていませんか？がん患者の精神・心理的アセスメントと記録の仕方〕

教育講演2-1 がん患者の精神・心理的問題のアセスメント

演者：伊藤 達彦（東京慈恵会医科大学 精神医学講座）

教育講演2-2 がん患者の精神・心理的アセスメントの記録の仕方について―医師編―

演者：竹内 麻理（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）

教育講演2-3 がん患者の精神・心理的アセスメントの記録の仕方について―看護師編―

演者：河野佐代子（慶應義塾大学病院 看護部）

教育講演 3 《9月18日（金）9:00～10:00》 第3会場（4F／大会議室）

座長：小澤 美和（聖路加国際病院 小児科）

〔AYA世代のがん患者・サバイバーへの支援〕

演者：丸 光恵（甲南女子大学看護リハビリテーション学部 国際看護開発学）

教育講演 4 《9月19日（土）11:00～12:00》 第2会場（2F／中ホール）

座長：秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）

〔がん患者支援活動における課題と医療者への期待： パンキャンジャパンの活動を通して〕

演者：眞島 喜幸（特定非営利活動法人パンキャンジャパン）

SHARE-CST国際シンポジウム 《9月18日（金）15:45～17:00》 第1会場（2F／大ホール）

座長：内富 庸介（国立がん研究センター 支持療法開発センター）

〔SHARE-CSTの展開〕

IS1 日本でのSHARE-CSTの開発と取組

シンポジスト：藤森麻衣子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター）

IS2 SHAREが臨床でどのようにいかされているのかを振り返る

シンポジスト：石川 和由（獨協医科大学病院 腫瘍センター緩和ケア部門）

IS3 To Expand SHARE-CST in Taiwan and China

シンポジスト：Chun-Kai Fang（Chairman, Department of Psychiatry,
Mackay Memorial Hospital）

シンポジウム 1 《9月18日（金）10:00～11:30》 第1会場（2F／大ホール）

座長：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

山内 典子（東京女子医科大学病院 看護部）

〔臨床で役立つ最新必読文献30選 ―忙しい医療者のために―〕

S1-1 不眠へのアプローチ

シンポジスト：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

S1-2 低活動型せん妄の評価と対応

シンポジスト：奥山 徹（名古屋市立大学病院 緩和ケア部）

S1-3 がん患者のうつ病への介入

シンポジスト：角甲 純（国立がん研究センター東病院 看護部）

シンポジウム2

《9月18日（金）10:00～11:30》 第2会場（2F／中ホール）

座長：村上 好恵（東邦大学看護学部 がん看護学研究室）

清水 研（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

「看護師による“がん患者の心理的不安を軽減するための面接”は どうあるべきか ～がん患者指導管理料2算定の実施と課題～」

S2-1 がん患者の心理的不安を軽減するための面接技術の習得と看護教育の現状

シンポジスト：村上 好恵（東邦大学 看護学部 がん看護学研究室）

S2-2 都道府県がん診療拠点病院におけるがん患者指導管理料算定の現状と課題

シンポジスト：當金 舞（都立駒込病院）

S2-3 専門・認定看護師に必要ながん患者の精神心理的側面の評価と対応

シンポジスト：久保田陽介（名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神認知行動医学分野）

S2-4 JPOSセミナー「看護師によるがん患者相談面接研修」の成果と課題

シンポジスト：馬場華奈己（岡山大学病院 看護部）

シンポジウム3

《9月18日（金）10:00～11:30》 第3会場（4F／大会議室）

座長：坂田 尚子（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

松岡 弘道（近畿大学医学部附属病院がんセンター 緩和ケア室）

「どうやって患者さんの行動を変えるの？」

S3-1 わかっちゃいるけど、やめられない」行動への支援 ―禁煙外来での取り組み―

シンポジスト：堂谷知香子（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

S3-2 どうやって患者さんの行動を変えるの？―オートノミートレーニングの観点から

シンポジスト：植木 啓文（岐阜県総合医療センター精神科）

S3-3 がん検診と行動変容

シンポジスト：平井 啓（大阪大学 未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室）

S3-4 作業療法によって患者の行動がなぜ変わるのか？

―がんのリハビリテーションにおける取り組みから考える―

シンポジスト：島崎 寛将（大阪府済生会富田林病院 リハビリテーション科）

シンポジウム4 《9月18日（金）15:30～17:00》 第3会場（4F／大会議室）

座長：間島 竹彦（国立病院機構西群馬病院 精神腫瘍科）

岩満 優美（北里大学大学院医療系研究科 医療心理学）

〔対応が「難しい」患者と家族の理解と対応〕

S4-1 「怒り」への対応

シンポジスト：吉川 栄省（日本医科大学多摩永山病院神経精神科）

S4-2 否認をしている患者さんへの対応

シンポジスト：伊藤 嘉規（名古屋市立大学病院 緩和ケア部）

S4-3 「死にたい」と訴える患者

シンポジスト：横尾実乃里（神奈川県立がんセンター 精神腫瘍科）

S4-4 対応が難しい患者との関わり方 ～要求が多い患者～

シンポジスト：木野美和子（筑波メディカルセンター 看護部）

シンポジウム5 《9月19日（土）9:00～11:00》 第1会場（2F／大ホール）

座長：松田 能宣（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科／支持・緩和療法チーム）

谷向 仁（京都大学大学院医学研究科 臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座）

〔医療スタッフのためのサイコオンコロジー神経症状診察入門〕

S5-1 知っておきたい神経所見 ～症例より

シンポジスト：船橋 英樹（宮崎大学医学部附属病院 精神医学講座）

S5-2 明日からできる神経所見の診察法

シンポジスト：上利 大（広島市立広島市民病院 脳神経内科）

S5-3 身体要因による神経所見

シンポジスト：田上 恵太（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）

S5-4 神経症状の副作用を起こしうる様々な薬剤

シンポジスト：原 伸輔（大阪大学医学部附属病院 薬剤部）

シンポジウム6 《9月19日（土）9:00～10:50》 第2会場（2F／中ホール）

座長：福井小紀子（日本赤十字看護大学大学院 地域看護学分野）

吉田 沙蘭（国立がん研究センター がん対策情報センター）

〔がん患者の家族ケア〕

S6-1 家族ケア概論－家族療法の立場から－

シンポジスト：渡辺 俊之（高崎健康福祉大学大学院）

S6-2 積極的抗がん治療時期における家族ケア ～SHARE-CST家族編～

シンポジスト：那須淳一郎（岡山済生会総合病院 内科）

S6-3 在宅移行期における家族支援

シンポジスト：角川 由香（東京大学大学院 医学系研究科
健康科学・看護学専攻 地域看護学分野）

S6-4 親が病気になったとき ～子どもへの伝え方、支援について～

シンポジスト：村瀬有紀子（東京医科歯科大学附属病院小児科）

シンポジウム7 《9月19日（土）13:00～14:30》 第1会場（2F／大ホール）
座長：井上 猛（東京医科大学 精神医学分野）
上村 恵一（市立札幌病院 精神医療センター）

〔向精神薬まるわかり徹底解剖〕

- S7-1 睡眠薬についてくわしくなろう**
シンポジスト：谷口 充孝（大阪回生病院睡眠医療センター）
- S7-2 抗不安薬**
シンポジスト：稲田 健（東京女子医科大学医学部精神医学）
- S7-3 薬理学的根拠に基づく抗うつ薬の使い方**
シンポジスト：菱本 明豊（神戸大学大学院医学研究科精神医学分野）
- S7-4 がん医療における抗精神病薬の役割 ～理論と実践～**
シンポジスト：堀 輝（産業医科大学精神医学教室）

シンポジウム8 《9月19日（土）13:00～14:30》 第2会場（2F／中ホール）
座長：水野 泰行（関西医科大学 心療内科学講座）
松本 禎久（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）

〔ストレスは病気に影響するのか？〕

- S8-1 みえにくい「ストレス」を、みえやすい「患者家族のつらさの緩和」につなげたい**
シンポジスト：蓮尾 英明（関西医科大学附属枚方病院 がん治療緩和部）
- S8-2 モルヒネ治療効果を予測する心理的因子、およびバイオマーカー研究**
シンポジスト：牧村ちひろ（近畿大学医学部附属病院 心療内科）
- S8-3 がん化学療法における条件付けが関与した有害事象**
シンポジスト：中口 智博（名古屋市立大学 大学院医学研究科 精神・認知・行動医学）
- S8-4 「心身相関」 何が原因？**
シンポジスト：石田 真弓（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）
- S8-5 造血幹細胞移植における心身相関**
シンポジスト：榎野 真美（東京大学心療内科）

シンポジウム 9

《9月19日（土）13:00～14:30》 第3会場（4F／大会議室）

座長：高橋 都（国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部）
藤澤 大介（慶應義塾大学医学部 精神神経科／緩和ケアセンター）

〔がんサバイバーを取り巻く社会：がんと偏見・スティグマ〕

S9-1 精神疾患とスティグマ

シンポジスト：鈴木友理子（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 成人精神保健研究部）

S9-2 がんサバイバーのスティグマ・社会的差別

シンポジスト：藤澤 大介（慶應義塾大学医学部精神・神経科／緩和ケアセンター）

S9-3 がんに関与経験のない日本人のがん認識：がん経験者とのコミュニケーションの問題

シンポジスト：土屋 雅子（国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部）

S9-4 児童・生徒を対象としたがん教育—知識と事実から学んだ先にあるもの—

シンポジスト：助友 裕子（日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科）

事例検討 1 《9月18日（金）15:20～17:00》 第2会場（2F／中ホール）

座長：岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）

中西 健二（三重大学医学部附属病院 医療福祉支援センター）

武村 史（市立札幌病院 精神医療センター）

コメンテーター：竹内 文一（小田原市立病院 心身医療科）

〔困った!! 精神科医・心療内科医がいないのに…さあどうしよう!!〕

事例検討1-1 身体担当医からみる精神疾患の対応の現状

演者：片寄 喜久（市立秋田総合病院 乳腺・内分泌外科緩和ケアチーム）

事例検討1-2 困った。精神科医、心療内科医がいないのに・・・さあ、どうしよう

演者：一戸 真紀（青森市民病院）

事例検討1-3 精神科医・心療内科医との協働について

演者：谷口 敏淳（鳥取生協病院 医療相談室）

事例検討1-4 精神科医との協同 ～薬剤師の立場から～

演者：小宮 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

事例検討2 《9月19日（土）10:40～12:00》 第3会場（4F／大会議室）

座長：金子眞理子（東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部精神看護学科精神看護学）

尾形 明子（広島大学大学院教育学研究科 心理学講座）

〔医療者間のコミュニケーションと連携のあり方を考える〕

事例検討2-1 医療チーム間の認識・葛藤の共有の困難さ ～持続鎮静を要する患者への関わりをめぐって～

演者：菅原亜有美（船橋市立医療センター 看護局）

事例検討2-2 医療者間のコミュニケーションと連携のあり方を考える ー身体科医師の立場から

演者：山崎 圭一（ベルランド総合病院 乳腺センター・緩和ケア科）

事例検討2-3 チーム医療における緩和ケアチーム精神症状担当医師の役割

演者：小室龍太郎（国立病院機構金沢医療センター 緩和ケアチーム・精神科）

事例検討2-4 チーム医療におけるがん相談員／心理士の存在について

演者：渋谷 弘子（東京医科大学八王子医療センター総合相談・支援センター
がん相談支援室）

【事前申込制・有料】

ワークショップ1 《9月18日（金）14:30～17:30》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）

〔がん患者に対するマインドフルネス・スキル入門〕

WS1-1

講師・ファシリテーター

朴 順禮（慶應義塾大学看護医療学部）

佐渡 充洋（慶應義塾大学医学部精神・神経科）

藤澤 大介（慶應義塾大学医学部精神・神経科／緩和ケアセンター）

竹内 麻理（慶應義塾大学病院緩和ケアセンター）

河野佐代子（慶應義塾大学病院看護部）

【事前申込制】

ワークショップ2 《9月19日（土）9:00～10:30》 第3会場（4F／大会議室）

座長：岡島 美朗（自治医科大学附属さいたま医療センター 精神科）

紺井 理和（聖路加国際病院 看護部）

【対応が難しいと感じる患者にどう寄り添うか～頑張っている、
だからこそ少し疲れている医療者の支援のために～】

WS2-1 症例提示

演者：里見 裕之（福井県済生会病院 産婦人科）

WS2-2 症例1のディスカッションポイント

演者：四宮 敏章（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

WS2-3 対応が難しいと感じる患者にどう寄り添うか

演者：小林 直子（国立がん研究センター東病院 看護部）

WS2-4 患者の怒りや不満に向き合う

演者：馬場 知子（自治医科大学附属さいたま医療センター）

ランチョンセミナー1 《9月18日（金）12:00～13:00》 第1会場（2F／大ホール）

座長：松島 英介（東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野）

【がん患者の不眠とその治療】

演者：内山 真（日本大学医学部 精神医学系）

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー2 《9月18日（金）12:00～13:00》 第2会場（2F／中ホール）

座長：明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

【もう一度学ぶ、サイコオンコロジーの大切さ】

演者：大西 秀樹（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー3 《9月19日（土）12:00～13:00》 第1会場（2F／大ホール）
座長：内富 庸介（国立がん研究センター 支持療法開発センター）

【チームで支えるがん患者の気持ちのつらさ】

演者：吉内 一浩（東京大学大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学）

共催：持田製薬株式会社

ランチョンセミナー4 《9月19日（土）12:00～13:00》 第2会場（2F／中ホール）
座長：和田 健（広島市立広島市民病院 精神科）

【急性期病院の緩和ケアチームで実践できる！
精神症状への治療・ケアアプローチ】

演者：日笠 哲（広島市立安佐市民病院 精神科・緩和ケアチーム）

共催：MSD株式会社

市民公開講座 《9月19日（土）15:30～17:00》 第1会場（2F／大ホール）
司会：内富 庸介（国立がん研究センター 支持療法開発センター）

【人はがんとどう向き合うか？】

演者：垣添 忠生（財団法人日本対がん協会 会長、国立がんセンター 名誉総長）

共催：広島大学
中国・四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム
後援：広島県

【有料・会員対象】
ミート・ザ・エキスパート ランチセッション

《9月19日（土）12:00～13:00》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）

エキスパート：小山 敦子（JPOS理事、近畿大学医学部内科学心療内科部門 教授）
高橋 都（JPOS理事、国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部 部長）
清水 研（JPOS理事、国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科 科長）
岡村 仁（元JPOS副代表理事、広島大学大学院医歯薬保健学研究院
精神機能制御科学研究室 教授）
司会：大庭 章（群馬県立がんセンター 臨床心理士）

一般口演1 《9月18日（金）9:00～9:40》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）
座長：四宮 敏章（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

- O1-1** 心療内科で緩和ケアのみを行った90代結腸癌の1例
総合磐城共立病院 心療内科 岩橋 成寿
- O1-2** 当院緩和ケアチーム依頼時におけるせん妄の実態調査
春日井市民病院 精神科 長島 渉
- O1-3** 希死念慮を訴えた急性型ATL患者への意思決定支援にリエゾンチームが介入した事例
淀川キリスト教病院 専門・認定看護師室 市川久美子
- O1-4** 緩和ケア病棟において精神科医を受診した症例の検討
札幌清田病院 緩和ケア病棟 田熊 裕美

一般口演2 《9月18日（金）9:40～10:20》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）
座長：吉川 栄省（日本医科大学多摩永山病院 神経精神科）

- O2-1** 血液腫瘍内科病棟における催眠技法活用時の工夫
亀田総合病院 臨床心理室 上田 将史
- O2-2** 緩和ケア病棟にて鎮静を施行した終末期せん妄の2例の検討
名古屋徳洲会総合病院 外科・緩和ケア外科 坂本 雅樹
- O2-3** がんで亡くなった統合失調症患者から学んだこと
安来第一病院 山本 大介
- O2-4** 遷延する抑うつ状態により、在宅移行に2ヶ月を要した進行膵臓がんの1事例
北見赤十字病院 看護部 須藤 祐子

一般口演3 《9月18日（金）10:20～11:00》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）
座長：和田 信（大阪府立成人病センター 心療・緩和科）

- O3-1** 外来通院中の血液腫瘍疾患のこどもの親が抱える不安と支援方略
岩手医科大学附属病院 看護部 佐々木真由美
- O3-2** がん患者とその家族の不安と希望～緩和ケア病棟訪問で学んだこと～
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 緩和ケア内科 小林 秀正
- O3-3** 医学生、臨床研修医に対する精神腫瘍学教育の報告
福岡大学医学部 精神医学教室 片岡 岳
- O3-4** 呼吸器専門病院でのがん相談面接の現状と効果の検討
近畿中央胸部疾患センター 看護部/支持・緩和療法チーム 内藤 潤

一般口演4 《9月18日（金）11:00～11:50》 第4会場（広島市文化交流会館2F／ルミエール）

座長：秋月 伸哉（千葉県がんセンター 精神腫瘍科）

O4-1 早期からの緩和ケアーがん治療中から専門的緩和ケアを併施することの意義：
精神腫瘍医不在の状況下での検討

東北大学大学院医学系研究科 医科学専攻外科病態学講座緩和医療学分野 中島 信久

O4-2 治癒が期待できないがん患者の「認識のバイアス」

宮城県立がんセンター 腫瘍内科 村川 康子

O4-3 がんピアサポーターのベネフィット・ファインディングの特性および活動継続の要因

日本赤十字看護大学 中尾 入江

O4-4 がん患者1055名の復職後のメンタルヘルス不調の発症に関する実態調査とその分析

東京女子医科大学医学部 衛生学公衆衛生学第二講座 遠藤 源樹

O4-5 外来化学療法中の乳癌患者へのワークブック介入によるQOL改善効果
～ランダム化比較試験初回解析結果報告～

虎の門病院 臨床腫瘍科 高野 利実

ポスター発表 発表者在席時間《9月18日（金）17:00～18:00》 ポスター会場（1F／市民ギャラリー）

P1 若年で上行結腸癌を発症した統合失調症の一例

東京臨海病院 メンタルクリニック 笹田 美和

P2 臨床心理士とMSWの関わりによりその人らしく生きることを支えた1事例

札幌医科大学附属病院 緩和ケアチーム 米田 舞

P3 希死念慮を認め、療養場所決定支援に難渋した前立腺癌末期患者で
結果的に自宅退院可能となった症例

福井大学医学部附属病院 緩和ケアチーム 児玉麻衣子

P4 退院予定の説明を契機にせん妄が悪化した1例

奈良県立医科大学附属病院緩和ケアセンター 田原 一樹

P5 胸骨上縁に発生した巨大腫瘤を抱える患者と医療者の苦悩の症例

藤沢湘南台病院 林 ゑり子

P6 緩和ケアチーム介入時から関わりがあった遺族へのアプローチ
～急性期病院の精神科外来でできる評価とケア～

松山赤十字病院 精神科・心療内科 臨床心理士 小野恵里香

P7 チャプレンの介入により、ご家族の受容が得られた一事例

宝塚市立病院 緩和ケア病棟 松田 良信

P8 患者の自身の疾患への捉え方の変化～同じ疾患で親類を亡くした経験をもつ2例を通して～

国立病院機構広島西医療センター 臨床研究部がん・神経難病支持療法研究室 藤原 美聡

- P9 うつ病性昏迷による再発と考えられたが、髄膜癌腫症であった肺癌に伴ううつ病の一例
広島市立病院機構 広島市立広島市民病院精神科 井上 俊一
- P10 がん緩和領域におけるrestless legs syndromeおよびアカシジアに対する
rotigotine貼付剤の使用状況
がん研究会有明病院 緩和治療科 佐伯 吉規
- P11 北見赤十字病院在宅緩和ケアにおけるプロマゼパム坐薬の使用経験
北見赤十字病院 緩和ケア内科 西本 武史
- P12 がん相談支援センターが支える退院支援・退院調整の一例
広島市立安佐市民病院医療支援センター 総合相談室 長屋由起子
- P13 治療法選択の意思決定プロセスに介入した3症例についての検討
市立福知山市民病院 外来化学療法室 山本 千明
- P14 妻の子宮頸癌の原因が自分だと悩んだ夫の2症例
豊見城中央病院 麻酔科 余語 久則
- P15 怒りを表出した患者の対応を医療者で考えることで学んだこと
シムラ病院 看護部 香月 康生
- P16 自身の喪失と配偶者の喪失を同時期に抱えること～心理士が関わった一事例を通して～
国立病院機構広島西医療センター 臨床研究部がん・神経難病支持療法研究室 舘野 一宏
- P17 Social - Networking - Serviceの代わりに痛みの経過表につぶやき続けたA氏
～「いいね!」を共有して～
戸塚共立第2病院 看護部 佐久間昌代
- P18 モルヒネ乱用抑制と疼痛緩和の両立を求めて ～レスキューに非速放剤を併用した一例
大津市民病院 緩和ケア科/精神・心療内科 畑 讓
- P19 精神症状による入退院を繰り返したがん患者への関わり
新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央綜合病院 田邊千代子
- P20 急激な自律性の低下を伴う患者の受容性とレジリエンスについての考察
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム 小杉 孝子
- P21 異所性ACTH産生腫瘍に伴う精神症状の緩和に副腎皮質ホルモン合成阻害薬の併用が
有用であった1例
山形県立中央病院 緩和医療科 沼田 綾
- P22 『私の移り変わり』：30代女性がん患者のライフレビュー・アートセラピー事例報告
岡山大学医学部 精神神経病態学 長坂 剛夫
- P23 「食べる」事を強く願われた患者の事例を通して
第二岡本総合病院 看護部 北村 和美
- P24 訪問看護師へのリエゾン精神看護介入の効果に関する一考察
公立豊岡病院 看護部 安原 沙織

- P25** がん治療をした配偶者をもつ父親の子育て経験と対処
都立小児総合医療センター 中島 涼子
- P26** せん妄の薬物療法においてオランザピンから抑肝散へ変薬後、速効性を認めた一症例
地方独立行政法人りんくう総合医療センター 内分泌代謝内科、緩和ケアチーム 清水 勇雄
- P27** 短期入院化学療法を継続中に適応障害診断を受けた患者の心理社会リスク因子に関する一考察
新潟厚生連長岡中央総合病院 外来看護師 三浦一二美
- P28** 患者が危機的状況を乗り越えるまでの関わり～双方にとって良い影響を与える存在になれた一例～
長崎川棚医療センター 看護部 執行真由美
- P29** がん患者の家族への心理的サポートを考える
がん患者の療養中に配偶者が自死した1例から学んだこと
信州大学医学部附属病院 緩和ケア相談室 内藤 綾子
- P30** 患者の介入に対し困難感を抱いていた外来看護師と共に協働した一例について
阪南中央病院 がん治療支援チーム 江口真知子
- P31** 悪性リンパ腫を併発した統合失調症患者へ緩和ケアチームが介入した一例
JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 看護部 松岡みゆき
- P32** 精神発達遅滞を有する末期癌の一例
医療法人社団誠和会藤木病院 藤木 啓
- P33** 腎移植後に口唇がんで終末期を迎えたtotal painを抱える患者に対するRTCの関わり
三重大学医学部附属病院 臓器移植センター 浦和 愛子
- P34** 頭頸部癌治療における緩和ケアチーム心理士の役割
社会医療法人戸畑共立病院 緩和ケアチーム 松元 祐子
- P35** 精神症状を抱えた終末期がん患者の自律を支える意思決定支援
愛知県がんセンター中央病院 看護部 深谷 恭子
- P36** 婦人科がん患者の自己開示とQOL
国際医療福祉大学大学院 臨床心理学専攻 井上みゆき
- P37** 緩和ケア病棟に緊急入院した患者さんがバセドウ病だったら
兵庫県立柏原病院 内科（緩和ケア病棟担当） 板倉 崇泰
- P38** コミュニケーションが患者の心理過程に影響を及ぼした一事例
ー終末期の意思決定支援のためにできることー
公立那賀病院 看護部 認定室 栗山 文枝
- P39** 患者の主体性を意識した関わりにより行動変容につながった事例
東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 坂田 尚子
- P40** 患者への心理的介入が結果的に臨終場面での家族支援へとつながった一例
国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室／がんサポートチーム 森田 眞子

- P41** 緩和ケア病棟における終末期肺がん患者への支援をロゴセラピーの視点で振り返る
名古屋徳洲会総合病院 7階病棟 大橋 純子
- P42** 治療やケアを拒否され、対応に難渋した腎癌骨転移再発の1例
ベルランド総合病院 乳腺センター 緩和ケア科 山崎 圭一
- P43** がんの親を持つ子どもを多職種協働で支える
諏訪赤十字病院 市川 悠
- P44** ラットを用いたドキシソルビシンおよびクロホスファミド投与による認知機能低下におけるBDNFの関与
岡山大学病院 薬剤部 北村 佳久
- P45** マインドフルネス・アートセラピー前後における自律神経および気分の変化
聖マリア学院大学 看護学部 安藤 満代
- P46** がん患者と家族の関係性に予後告知が与える影響
名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学教育学 山木 照子
- P47** 統計的手法によるがん患者への看護支援方法抽出の可能性～疼痛管理教育に焦点をあてた検討～
三重大学医学部看護学科 成人・精神看護学講座 玉木 朋子
- P48** End-of-Life discussionに対するがん患者の意向 -Web調査の結果より-
国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部 吉田 沙蘭
- P49** 緩和ケア患者家族の死別に伴うリスク評価およびレジリエンスとの関連性について：BRATを用いて
尚絅学院大学 総合人間科学部 内田 知宏
- P50** 緩和ケア病棟入院中がん患者家族の予期悲嘆と抑うつおよび愛着の関連について
静岡大学 人文社会科学部 幸田るみ子
- P51** 原材料は記憶、イメージ、表現：日本のがん患者のためのライフレビュー・アートセラピーの理論研究
岡山大学医学部 精神神経病態学 長坂 剛夫
- P52** 分子標的薬による長期生存は患者のコーピングを困難にする
三井記念病院 放射線治療科 清水わか子
- P53** がん患者である親とその子どもにおける親子間のQOL評価差と属性との関連
早稲田大学大学院 人間科学研究科 小川 祐子
- P54** 外来化学療法受療中のがん患者のパートナーの精神的苦痛：
患者の症状、負担感、心理的支援の必要性との関連
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野 石塚 典子
- P55** 乳がん初期治療において経口ホルモン薬を服薬する患者のQOLと関係する要因
市立奈良病院 看護部 谷口 章子
- P56** 乳がん患者における化学療法による認知機能障害と不安/抑うつとの関係に関する検討
京都大学大学院医学研究科 臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座 谷向 仁

- P57** 外来がん患者の心理的サポートサービスに対する援助要請行動のプロセスを構成する要因とバリア
大阪大学大学院人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学／日本学術振興会特別研究員（DC2） 松井 智子
- P58** 癌化学療法に伴う悪心・嘔吐（CINV）に対する心理的特性 ～乳癌患者での検討（最終報告）
都立駒込病院 乳腺外科 井寺 奈美
- P59** 広島市民病院の入院がん患者に対するせん妄ケアシステム施行状況について
広島市立広島市民病院 精神科 倉田 明子
- P60** がん医療における心理職の役割についての再検討—テキストマイニングによる依頼内容の分析—
社会医療法人敬愛会 中頭病院 医療相談室 赤嶺遼太郎
- P61** 熊本大学附属病院における造血幹細胞移植における精神面のサポート
熊本大学医学部附属病院 神経精神科 城野 匡
- P62** 緩和ケア病棟のイメージに影響を及ぼす情報と面談の意義
朝倉医師会病院 緩和ケアチーム 梅木 倫子
- P63** がん患者の身体的苦痛や精神的苦痛、社会的苦痛などに対する院内統一スクリーニングの運用開始後調査
産業医科大学病院 緩和ケアセンター 得津 由紀
- P64** 施設別がん登録データからみたがん相談支援センター活用状況の実際
鳥取県立中央病院 がん相談支援センター 藤松 義人
- P65** がん患者指導管理料1算定患者に対する介入内容と課題
国立病院機構 大阪南医療センター 緩和ケア推進室 村口さつき
- P66** 肝細胞がん患者の心理的特徴に関する研究
国立病院機構 長崎医療センター 寺尾 敦
- P67** がん患者の身体・精神的苦痛への早期対応を目指した取り組み
〔入院時スクリーニングシステムの導入〕
大阪府立急性期・総合医療センター 川本 良子
- P68** 雇用状況が医師との予後についての話し合いの意向に関連する
名古屋市立大学病院 緩和ケア部 内田 恵
- P69** がん患者における抑うつ症状と年齢の関係：多施設横断研究
国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科／東京医科歯科大学医歯学総合研究科心療・緩和医療学分野 和田 佐保
- P70** 化学療法や自家造血幹細胞移植に対する根治不能な多発性骨髄腫患者の期待
原三信病院 血液内科 上村 智彦
- P71** 緩和ケア病棟におけるせん妄発症の状況
埼玉石心会病院 緩和医療科 岡本 信也
- P72** 遺族外来について考える～現状と今後の展望～
JA北海道厚生連 旭川厚生病院 緩和ケアチーム 菅原かおり
- P73** 広島大学病院精神科病棟におけるがん患者の入院治療の現況
広島大学 精神科 増田 結香

- P74** 広島大学病院における精神科リエゾンチームと緩和ケアチームの活動状況
広島大学病院 精神科 安田 由美
- P75** 緩和ケアにおける臨床心理士の役割の意義と有効性の検討
～チームアプローチでの活動状況の変化から～
徳島大学病院 がん診療連携センター がん緩和・こころのケア部門 宮崎 厚子
- P76** 進行がん患者が大切に思う領域と個人のQOL –緩和ケア外来でのSEIQoL-DW–
千葉県がんセンター 緩和医療科 坂下 美彦
- P77** 進行がん患者のQOL及び不安についての検討
大崎市民病院 緩和ケアチーム 渡邊 裕美
- P78** 乳腺サポートチームにおける臨床心理士の活動と役割
磐田市立総合病院 緩和ケアチーム 鈴木 雅子
- P79** 当科における睡眠剤処方例の後方視的検討
大崎市民病院 本院診療部 腫瘍内科 高橋 義和
- P80** 造血管腫瘍サバイバーによる「いのちの授業」
～活動報告およびサバイバーへの心理的影響に関する検討～
NPO法人 血液患者コミュニティ ももの木 大橋 晃太
- P81** がんサバイバーに対するマッサージ療法の心身への効果：ランダム化比較試験
筑波技術大学保健科学部 保健学科 殿山 希
- P82** 乳がんサバイバーが抱える疾患認識と抑うつ・不安症状の検討
早稲田大学大学院人間科学研究科 原 沙彩
- P83** 徳島大学病院「がんサロン」の現状と課題
徳島大学病院 がん診療連携センター 門田 芳
- P84** がん患者・家族サロンに関する今後の展望 ～体験型サロンの可能性～
四国がんセンター 井上 実穂
- P85** 朗読を用いたサポートグループの予備的有効性の検討
国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科/NPO法人キャンサーリボンズ 猪口 浩伸
- P86** 乳がん患者における心理社会的サポートサービスの利用の実態
大阪大学大学院人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学／日本学術振興会特別研究員（DC2） 松井 智子
- P87** 就労支援のためのグループ教育・相談の試み ～大学病院における活動報告～
近畿大学医学部附属病院 がん相談支援センター 小山富美子
- P88** がんサポートコミュニティにおけるがん患者の満足度とサポートグループ運営の課題
がんサポートコミュニティ／日本赤十字看護大学 遠藤 公久
- P89** がん患者の補完代替医療に携わる看護師の倫理的ジレンマについての実践的な研究
東北大学病院 米谷百合子

- P90** **がん患者の精神心理面のアセスメントとコミュニケーションに関する看護師の認識**
東京医療保健大学東が丘・立川看護学部 看護学科 精神看護学 金子真理子
- P91** **緩和ケア病棟看護師のSOCからみた死生観と患者の死に対する対処方法の検討**
関西福祉科学大学 上地 章子
- P92** **病棟看護師へのせん妄ケア教育の2年間の取り組みの評価と課題**
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 看護部 横山 亜矢
- P93** **がん患者指導管理料2算定における試み ー認定看護師と病棟看護師の連携の効果**
大阪南医療センター 看護部 島内 美紀
- P94** **薬剤師によるがん患者の気持ちに配慮したCST法の開発（第1報）新人薬剤師へのアンケート調査**
岡山大学病院 薬剤部 正岡 康幸
- P95** **医療者の死生観は講義によって変化させることができるか**
奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 四宮 敏章
- P96** **がん終末期の患者・家族の意向に添った看護を困難にする要因**
独立行政法人国立病院機構都城医療センター 看護部 看護課 横尾 征八
- P97** **がん医療に携わる心理士のストレス反応に影響を与える要因の検討**
北里大学大学院医療系研究科医療心理学 平沼 里紗
- P98** **がん診療に携わる医師の妊孕性温存に関する話し合いの実態調査**
国立がん研究センター中央病院相談支援室／慶應義塾大学病院緩和ケアセンター 竹内 恵美
- P99** **SHARE-CST ファシリテーター ポケットガイド～ファシリテート虎の巻～の作成**
久留米大学医学部 麻酔学講座 佐野 智美
- P100** **医学生の緩和医療学に関する認識の変化 ～2つの教育方略の比較分析～**
高知大学医学部 神経統御学講座神経精神科学教室 掛田 恭子
- P101** **自治会のコミュニティ単位で、がん患者を支える仲間づくりに向けた活動**
株式会社みのり 訪問看護ステーションみのり 吉川 清巳
- P102** **認知行動療法のエッセンスを応用した双方向的コミュニケーションによるがん患者への
スピリチュアルケア**
岡谷市病院事業 岡谷塩嶺病院 緩和ケア病棟 金子 和彦
- P103** **ホスピス・緩和ケアに従事する支援者のためのマインドフルネストレーニングプログラムの
効果の検討**
友愛会 南部病院 笹良 剛史